

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

| | | | |
|---|--|------|---------------------------|
| 研究計画書番号 | RP-S2-25 | 研究期間 | 2025年10月21日から2027年9月30日まで |
| 研究課題名 | 制限平均生存時間の推定における未測定交絡因子のネガティブコントロールを用いた調整 | | |
| 研究責任者(所属) | 折原隼一郎(東京医科大学) | | |
| 放影研での研究責任者 | 三角宗近(放射線影響研究所) | | |
| 試料・情報の利用目的及び利用方法 | 利用目的： 広島と長崎の原爆被爆者のデータセットを用いて、因果効果を推定する統計的方法を提案することを目的とします。 利用方法： 放影研で行っている寿命調査(LSS)の死亡率調査として結果が報告・公表されている研究データ(追跡期間:1950-2003年)を用い、測定されていない交絡因子の影響を調整するために、「市内に居住していない」対象者(市内不在者またはNICと呼びます)をネガティブコントロールとして用います。NICを用いることで、測定されていない交絡因子の影響を調整し、因果効果を適切に推定できると期待されます。 | | |
| 他の機関への提供の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 提供先機関名:東京医科大学、慶応義塾大学、名古屋大学 <input type="checkbox"/> 無 | | |
| 利用し、又は提供する試料・情報の項目 (提供する試料・情報の取得の方法) | 利用する情報、提供する情報は以下の通りです。 ●基本情報:被爆都市、性別、生年月日(年月のみ)、LSS調査開始日 被ばく情報:被爆時在市/不在市の別、爆心地からの距離(近距離/遠距離を含みます)、放影研の前身である原爆傷害調査委員会(ABCC)が実施した面接調査で得た情報に基づき放影研が採用する方法で見積もられた被曝線量(個人を特定できないように3桁に切り捨てます) ●追跡状況(2003年迄):ご生存を確認できた最も新しい日(生存の場合、年月のみ)、国の人口動態調査データの利用により得た死亡日(死亡の場合、年月のみ)、死亡の原因(国際疾病分類の記号) 情報の利用または提供は2025年12月から開始します。 | | |

| | |
|-------------------------|--|
| 利用する者の範囲 | 東京医科大学 折原隼一郎 慶応義塾大学 岡本憲暁 名古屋大学 篠田和彦 放射線影響研究所 坂田 律 三角宗近 |
| 試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称 | 三角宗近（放射線影響研究所） |
| 統括個人情報保護管理者 | 放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀 |
| 問い合わせ先 | 【研究担当者】 氏名：三角宗近 公益財団法人 放射線影響研究所 統計部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131 |